

平成30年 7月20日

熊取町教育委員会 様

教育委員会評価委員会委員 吉 美 学
教育委員会評価委員会委員 幸 野 信 寿

熊取町教育委員会活動の点検及び評価（平成29年度事業対象）
に対する意見書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、熊取町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うにあたり、次のとおり意見を述べる。

意 見

熊取町教育委員会活動の点検・評価報告書の作成に際し、教育委員会事務局職員より聞き取りを行った。本報告書の構成については、今回からその対象を教育委員会主体による事業を中心に集約・整理するなど、わかりやすさを主眼に改善が施されている。また、事業内容については、平成29年度においても、前年度に引き続き現状と課題を見据え、適切に取組みを行うなど、現状に止まることなく、課題解決に向けた新たな事務事業を積極的に進めていることが十分に理解できた。

今後も、下記の点に留意し、取り組んでいただきたい。

記

- 1 学校教育部分では、教育委員会が様々な取組みを進め、着実にその成果を上げていることが理解できる。今後は、取組結果をさらに数値化することにより成果が明確になり、努力した取組みの成果が説得力を持つので、今後の課題、方向性の整理のためにもこのような工夫をされたい。
- 2 教育委員会主体の取組みなのか学校主導によるものなのかをより明確化させるため、今回から主に教育委員会主体の事業を評価対象とする形で適切に

整理されている。今後、より一層明確に課題を捉えた上で取組みを行い、これを適切に評価し、今後の教育行政の充実に努められたい。

- 3 就学援助費の入学前支給による学用品費等の保護者に対する支給は、生活困窮家庭において非常に有用な制度である。今後も小中学校に通う児童生徒が等しく教育を受けることができるよう、制度の適正な運用をお願いする。
- 4 社会教育部分では、教育委員会が様々な取組みを行い、その実績をグラフや表を用いて見やすく表現されているが、さらに、その結果の具体的な分析・検証を行うなど、今後の課題や方向性をより明確に示すことが必要である。
- 5 第4次生涯学習推進計画については、これまでの「生涯学習」「文化芸術」「運動・スポーツ」の3つの分野に、新たに「図書館」の分野を含め、計4つの分野を統合する形で策定された。この統合を契機として推進する各分野の情報のデータベース化は、4つの分野別のみならず、子ども向け、あるいは展示の種類別など、まとめ方や検索の方法を住民がより利用しやすいものとしていただきたい。
- 6 図書館が点字図書、大活字本などを所蔵したり地域への出前講座を実施するなど障がいのある人への取組みを推進していることは評価できる。これからも、増え続ける多様なニーズに適切に対応していただきたい。
- 7 4つの大学が熊取町に立地するという特性を活かして、例えばスポーツリーダーバンクの登録を各大学に対してより積極的に働きかけるなど、さらなる地域資源の活用に工夫の余地がある。